



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2024年1月 vol.24

2024年を迎えました。Oasis meets Booksを読んでいただき、ありがとうございます。

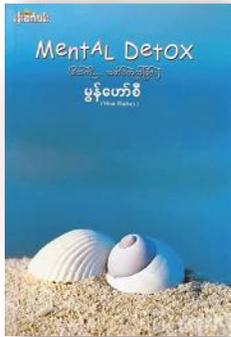
昨年も色々な人と出会い、色々な本を読みました。自身の捉え方に反省することもありましたが、本から知識・創造力の刺激を受け、前向きに行動できました。今年もどんな人と出会い、どんな本と巡り合えるかとても楽しみです。皆様にとってよい一年になることを願っています。

(教育委員会 委員長：前田 吉紀)

## Mental Detox / Tracy Morrow

グループホーム オアシス平野 / 介護士(特定技能) アッ・ミ・ゾー

皆さま、こんにちは。私はアッミゾー（通称：エミ、エミゾー）と申します。ミャンマーから技能実習生として介護の技術を学ぶために日本にまいりました。



今回、ご紹介する本は「メンタルデトックス」という本です。皆さまも、人生を送るなかで「気」が疲れる時もあると思います。皆さまはその時に、どうやって解決していますか？私はこの本を読んでストレスを軽減しました。初めてネットでこの本の名前を見た時から、「読んでみたい!!」と感じて、発売から1週間後購入しました。他にもたくさん本を読みましたが、この本は過去、現在、未来を「心を楽に」生き抜く方法に焦点を当てた非常に興味深い本です。この本を読んだことで、わたしの心はすっきりと軽くなりました。人生で起こりうる問題を冷静に解決する方法が書かれているので、皆さまもぜひ読んでみてください。

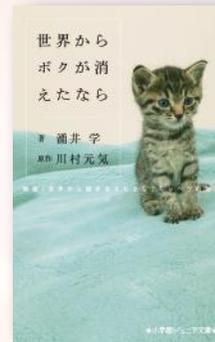


・次回⇒老健 オアシス 入所介護 / 副主任 笹田 紀世

## 世界からボクが消えたなら / 川村 元気

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 浅見 凧咲

飼ひ猫「キャベツ」と暮らす男性は、ある日突然、余命宣告を受けます。その日の夜、家に帰ると悪魔がいて、「世界から何かひとつ物を消す代わりに、一日寿命を延ばしてやる」と交換条件を出されます。主人公は戸惑いながらも悪魔と契約を交わします。



主人公は、明日には自分の命と引き換えに消えてしまうものたちを惜しみながら、不思議な七日間を過ごす【世界から猫が消えたなら】の番外編で、飼ひ猫のキャベツ視点のお話になります。電話、映画、時計…と、主人公と繋がりの深いものがどんどん消えていき、同時に、物を通して出会い、繋がっていた人たちとの思い出も消えてしまう場面は、胸がぎゅっと締め付けられました。

また、【世界から猫が消えたなら】では語られなかった、キャベツの、主人公を大切に思う気持ちが綴られるシーンは涙なしには読めません。

大切な誰かをもっともっと大切に、そして「そばにいてくれてありがとう」と伝えたい一冊です。



・次回⇒特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 金子 晋士

## くもをさがす / 西 加奈子

デイケア オアシス寿安 / 介護士 津村 香順

テレビで「バンクーバーの看護師さんは大阪弁をしゃべっているように聞こえたんです」と話していた作者の西 加奈子さん。



大阪弁に聞こえるってどういう事なんだろう、と思ったのがこの本を読んだきっかけでした。

バンクーバーで乳がんが見つかり、治療、手術された過程での色々な出来事が書かれています。

日本とバンクーバーでの医療の違いは驚きでした。乳房の全摘手術は日帰りなんです。日本では考えられないですね。でも看護師さんたちはとても明るく、患者さんの気持ちを尊重してくれます。明るいしゃべり方が大阪弁に聞こえたのでしょうか。会話は大阪弁で書かれていました。

治療中（闘病ではなく治療だそうです）にコロナにかかったり、ひどい頭痛に襲われたりしながら医師や看護師さん、沢山の友達に助けられながらの治療でした。

自分に起こってもおかしくないことですが、こんな風に前向きな姿勢で乗り越えていけたらと考えてしまいました。

題名の「くも」は「守り神」の意味だそうです。



・次回⇒デイケア オアシス寿安 / 受付事務 齋藤 みのり

## 人間の絆 ソウルメイトをさがして / 江原 啓之

老健 オアシス 配食 / ドライバー 永井 夕子

20代の頃、よくテレビで江原啓之さんを見ることがあり、心のどこかで気になっていたのだと思います。ちょうど人間関係や進路、様々なことに悩んでいたこともあり、書店に並んでいた江原さんの本をいくつか開いてみました。



中でもこの本は、人との繋がり、家族との繋がり、恋愛、子育てなど様々なことについて書かれていて、その時の自分に最適だと思い手に取りました。

「大我と小我」「自分のやったことは自分にかえる」「苦手な人は写し鏡」「起こることは必要なこと」「出会う人は「因果」であり「縁」である」など、自分の心に響く、突き刺さることがたくさん書かれていました。

この本を読んでから「広い心でいよう」という考えが生まれ、新しい出会いがあると「この人がご縁の深い人かな?」と、楽しみに思うようになりました。私にたくさんを教えてくれた大切な一冊です。

耳馴染みのない「大我と小我」、気になった方は是非、この本のページをめくってみてください。



・次回⇒老健 オアシス 衛生 / 主任 榎本 洋子

## 水谷豊 自伝 / 水谷豊、松田美智子

### グループホーム オアシス平野 / 課長 成田元

先日のグループホーム全国大会に行った際、水谷豊さんが対談で出演されたご縁により、『水谷豊 自伝』を読みました。



水谷豊さんは現在も放送されている『相棒』の杉下右京役をされている俳優です。今回の『水谷豊 自伝』では幼少期から、現在の『相棒/season22』の撮影前までの事を赤裸々に描かれていました。

水谷豊さんが、今までの人生や俳優業を行う上で、人との出会いを大切に、人との関わり合いをとて大切にされていたことがよくわかる本でした。

私が共感した所は、娘の趣里さんを毎日、保育園へ送り迎えしておられた所です。私も二人の息子を毎日、保育園へ送り迎えしていたので、とても身近に感じる事ができました。

現在、『相棒』の撮影で忙しい日々を送っておられるようですが、全く苦になっていないとの事です。水谷豊さんのポジティブな生き方がとてもよく記されていましたので、読んでいてとても元気になる作品でした。



・次回⇒ 介護支援センター オアシス / ケアマネジャー 北住 夏代

## バカとつき合うな / 堀江 貴文、西野 亮廣

### 老健 オアシス リハビリ / 柔道整復師 西迫 隼人

私が今回おすすめしたい本は「バカとつき合うな」です。本屋に並んでいる本の中で題名にインパクトがあり興味をひかれたので読んでみました。



この本は堀江貴文と西野亮廣が「バカ」について対談している内容が書かれています。

文中では色々なバカが出てきますが、まとめると情報を取りに行くことに消極的で運任せで、想像力がない人の事が書かれています。この本を読んで自分の現在や過去を振り返った時、行動力のなさを感じるようになりました。

そして、最後に「行動してください。この本を閉じたらすぐに行動して下さい。当然、行動には痛みは伴います。それでも、それら一切を受け止めて、走り続けてくだされば、きっとぼくらは、どこかの酒場で出会えると思います」の言葉が印象的でした。

この人達に並ぶ事は難しいですが行動しないと辿り着くことができません。私は、目標を大きく持つこと、そして、そのためにはまず行動することを恐れずに積極的に行動しないとイケないと感じました。



・次回⇒ 老健 オアシス リハビリ / 理学療法士 檜垣 宏一

## うちの犬が認知症になりまして / 今西 乃子

### グループホーム オアシスきずり / 介護士 三原 修平

「うちの犬が認知症になりまして」という本を紹介します。

出会った時には愛くるしい子犬も月日の流れで人よりも早く年を取り、老犬となり人と同じ様に介護が必要になってくるというストーリーで、飼い主と老犬との日々の戦いをコミカルに、かつ読み手にわかりやすく描かれています。

作者の苦労や愛犬に対する愛情に感動したり、こういう考え方もあるのかと思えさせられる事も多く、自分の愛犬に対してそこまでしてあげる事ができたか、自分への反省もあり楽しく読む事が出来ました。

愛犬と永く暮らしていく中で悩んだりする事も多々あると思いますが、「色々悩むのもいいのかもしれない」と思えるようになり、「動物介護とは何か」を考えるようになるきっかけを与えてくれた一冊でした。



・次回⇒ デイサービス オアシスきずり / 副主任 西村 由美

## オアシス文庫 recommend



蔵書ご案内

流浪の月 / 風良 ゆう

今回、私がおすすめしたい本は、2020年の本屋大賞を受賞した「流浪の月」です。「流浪の月」は通常の愛の形とは違う「絆」を描いた作品です。

あらずしとしては、小学生の少女、更紗(さらさ)は自由奔放な両親の元で伸び伸びと育てられていましたが、父親が病気で亡くなり、母親は恋人を作り蒸発してしまい、更紗は伯母さんに預けられます。しかし、そこでは伸び伸びと過ごすことが出来ず、苦痛の日々。

ある雨の日、公園ですみ濡れになりながら本をよんでいた更紗へ青年・文が傘を差し出します。文の家で2週間、自由に過ごした更紗ですが、世間的には「女兒誘拐事件」と呼ばれてしまいます。

あれから15年、更紗は24歳になり、婚約者もできましたが、カフェで文と再会してしまい2人の関係は歪んでいきます。

小説を読み進んでいく中で、「事実と真実」は違うなど、色々考えさせられますが、物語の展開が早く、読みやすい作品だと思います。(教育委員会: 大城 雄吉)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出しできます▶



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

お蔭様でOasis meets Books (OmB) も、2024年1月号をもって丸6年、4月号からは7年目を迎えます。お忙しいなか皆様にはご寄稿いただき本当にありがとうございます。

好きな1冊を決めて、紹介文を考え、スナップ写真を添えて次の方のご紹介をい

ただいで…そうしてここまで続けることができています。

いつも一緒に働いている人の知らない一面、普段は会うことはないけれど同じオアシスグループ内で働いている、いつか一緒に働くかも知れない人のユニークな一面、ご紹介本とともに、お人柄あふれる紹介文も楽しんでいただけたら何よりです。今年もどうぞよろしくお願いたします。

oasis

教育委員会

(教育委員会: 中島美和子)